

九州創生を進める上でのＪＲ九州との取組について

九州旅客鉄道株式会社（以下「ＪＲ九州」という。）は、地域の基幹的輸送機関として九州一円に及ぶ鉄道ネットワークを保有し、通勤・通学をはじめ、ビジネスや観光等、日常生活や経済活動のあらゆる面で、九州の発展に欠かせない重要な社会インフラである。

加えて、九州・山口地域のしごとづくりやまちづくり、観光振興など多くの場面でＪＲ九州は大きな役割を担っており、地方創生の時代の地域間競争を勝ち抜く上で、大切なパートナーでもある。

こうした中、本年３月にＪＲ九州はダイヤ改正を実施したが、沿線住民等に大きな影響が生じているにも関わらず、事前に十分な協議がないまま行われたことは遺憾である。

また近年は、自然災害が頻発化・激甚化している。九州・山口地域においても、熊本地震や九州北部豪雨災害等によりＪＲ九州の路線網も大きな被害を受けるなど、復旧までに長い時間を要する事案も発生している。

我々は、ＪＲ九州の広範な鉄道網の存在価値を再確認するとともに、九州・山口地域のさらなる発展に向けて、以下の点を共通認識とし、九州創生の取組を力強く進めていくものとする。

- 1 ＪＲ九州には、自らの鉄道サービスの影響の大きさを改めて認識した上で、ダイヤ改正、駅の無人化、特急列車のワンマン化等の施策について、広く沿線住民等の理解を得ながら進めるよう期待する。

また、ＩＣカード利用可能駅の拡大など、鉄道の利便性向上にも一層取り組むことを期待する。

- 2 九州・山口地域にとってＪＲ九州は、九州創生を加速させる重要なパートナーであることを再認識するとともに、ＪＲ九州も、そうした位置づけの中で自らの役割をしっかりと果たすことを期待する。

九州・山口地域が、しごとの場づくり、教育環境づくり、出産等の希望が叶う社会づくり及び安心安全な暮らしづくりを推進するに当たり、ＪＲ九州をパートナーとして認識しながら、一体となって各種施策を行うとともに、ＪＲ九州も、まち・ひと・しごとの創生に向けた取組を強力に進めることを期待する。

平成３０年５月２２日

九州地方知事会 会長 広瀬 勝貞